

報告・お知らせ

<電話 080-4702-1960>

- 「悪質商法・特殊詐欺防止講演会」:10月8日(水)午後2時から開催します(於・一休ホール)。区民向けの悪質商法・特殊詐欺対策の講演会です。<大阪府訪問看護ステーション協会教育ステーション>
 - 医療・介護連携此花区民講座「もしものためのもしバナゲーム大会」:10月31日(金)午後2時から開催します(於・此花区役所)。ACP啓発のためのもしバナゲーム(初の区民中心)です。
 - 此花区民健康講座「認知症予防のための歌声喫茶4(リターン)」:11月21日(金)午後2時から開催します(場所未定)。此花消防署・警察署からの案内があり、その後、松井恵子ピアニスト(音楽療法士)による歌声喫茶を開催し、昭和、平成の懐かしい歌謡曲等を合唱します。<対面のみ>
 - 「障害者差別解消法・人権・個人情報保護法研修会」:12月16日(火)午後2時から開催します(於・此花会館)。夫々の法令や最新の情報等について講演があります。<ハイブリッド方式>
 - 「第5回ACP研修会(多職種連携研修会)」:1月15日(木)午後2時から開催します(於・此花会館)。もしバナゲームの結果を踏まえて、意思決定支援、ACPについて講演があります。<ハイブリッド方式>
 - 「第2回認知症等高齢者支援地域連携研修会」:2月12日(木)午後2時から開催します(於・此花会館)。認知症との関りが大きい成年後見制度、特に、移行型の任意後見制度を中心に、老いじたく(終活)等についての講演があります。<ハイブリッド方式>
- ☆大阪市健康増進計画「すこやか大阪21(第3次)」がスタートしています(12年計画)。健康寿命の延伸を掲げ、がん、循環器疾患、糖尿病、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)、骨粗しょう症、こころの健康の発症予防や重症化予防などを目標にしています。
- ♡バリアフリー展2026(慢性期医療展、看護未来展、在宅医療展併設)<於・インテックス大阪> 令和8年4月15日(水)~17日(金)の開催予定です。なお、今年の来場者数は48,621人でした。
- ☆「此花区在宅医療・介護連携相談支援室」☆:医療・介護の相談がありました。

案内

- 小児救急電話相談: #8000(19:00~翌8:00 365日対応)
- 大阪市高齢者虐待ホットライン:06-6206-3725(平日17:30~翌9:00、土日祝・年末年始24時間)
- 女性人権ホットライン:0570-070-810(平日8:30~17:15)
- いのちの電話:0120-783-556(16:00~21:00、毎月10日8:00~11日8:00)
- 国民生活センター消費者ホットライン:0120-213-188か188(全国共通)

◎意思決定支援・アラカルト11⇒法務系意思決定支援者 ~行政書士・司法書士・弁護士~
元気な時、移行型の任意後見制度(生前事務委任契約+任意後見契約+死後事務委任契約)の利用する場合、支援者は法務系の専門職がいいでしょう。日常生活支援、財産管理の他に身上監護もしてくれますので、いざという時の意思決定支援者にもなります。特に、おひとさまにはお勧めです。

<幕間の一言> 「因果応報」って、結局悪い行いの結果、悪いことが起きる方が多いでしょう!

仏教には、善い行いには良い結果が、悪い行いには悪い結果がもたらされるという道理がありますが、「因果応報」となれば、悪い方が出てきます。「因果だね」と言われたら、巡り合わせの悪さや不運のことになります。そのためには、人はできるだけ、他人に寛容で優しくなければなりません。

会内活動 ～色々な研修会・会議等に参加しました。～

- ◆「**もしバナゲーム研究会**」:①9月10日(水)・②9月25日(木)開催(於・此花区医師会)<専門職対象>意思決定支援・ACPの説明、もしバナゲームの体験、ディスカッション等がありました。
- ◆「**此花区地域住民・専門職合同研修**」:9月8日(月)開催(於・此花区南西部地域包括支援センター)「介護保険の上手な付き合い方 ～私が介護を受けるとき、家族を介護するとき～」と題した講演とグループワークがありました。<講師:沖田裕子理事長(NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター)>
- ◆「**此花区訪問看護ステーション連絡会**」:9月8日(月)開催(於・此花区南西部地域包括支援センター)AED講習会の報告、悪質商法・特殊詐欺防止講演会等について、ディスカッション等がありました。
- ◆「**此花区認知症ネットワーク会議実行委員会**」:9月22日(月)開催(於・此花区南西部地域包括支援センター)認知症ケアパス(改訂版)、声掛け訓練についての検討がありました。
- ◆「**大阪市在宅医療・介護連携支援コーディネーター連絡会**」:9月25日(木)開催(於・大阪役所)大正区はじめ6区から活動報告、多職種研修会の振り返り等がありました。
- 「**ゆうちょ銀行オンラインセミナー**」:9月6日(土)開催 今から備える相続対策の講演がありました。
- 「**相続手続き・相続税セミナー**」:9月22日(月) [YouTube](#) 相続に関する講演がありました。
- NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター「**絵習字展**」:9月19日(金)開催(於・あべのハルカス近鉄本店)若年性認知症の方の絵習字展です。7階では認知症サポート相談もありました。

トピックス

下記<>内は以前に掲載した号

- ☆**一怒一老 一笑一若**:一つ怒ったら一つ齢を取り、一つ笑ったら一つ若返るという名言です。人間、イライラして切れたらダメなんです。たくさん笑うことが大切と教えています。
- ☆**推譲(すいじょう)**:報徳思想の一つで、日常の中で利が出たらすぐに使うのではなく、次の世代のため、或いは広く社会のために使うという生き方です。または、他人を推薦して、自らは譲るということです。
- ☆**見せ消ち(みせけち)・三夕の歌**:見せ消ちは、あるイメージを引き出し、否定または消去することで、強い印象を生み出す和歌の手法です。代表的な和歌は、三夕(さんせき)の歌の①「見わせば 花も紅葉も なかりけり 浦の苫屋の 秋の夕暮れ」(藤原定家/新古今和歌集)です。三夕の歌は他に、②「寂しさは その色としも なかりけり 横立つ山の 秋の夕暮れ」(寂蓮法師/新古今和歌集)と、③「心なき 身にもあはれは 知られけり 鴨立つ沢の 秋の夕暮れ」(西行/同)です。これにより、「もののあはれ」といった、素朴で静かな美しさを追求する文化が花開ききっかけとなりました。
- ☆**認知症高齢者の金融資産**:推定で、令和2年では、資産総額は255(金融175、不動産80)兆円にのぼり、これは、全家計の資産総額の約8%にあたります。令和12年では、318(金融218、不動産が100)兆円、令和22年では、349(同241、同108)兆円と増えていくと推定されます。
- ☆**新しい認知症観**:各々が自分のこととして理解し、個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とともに、希望を持って自分らしく暮らすことができるという考え方です。<61号>
- ☆**アクティブレスト**:体を軽く動かしながら気軽に疲れをとる休息法で、1回あたり10～30分程度の運動、週に2～3回が目途です。また、脳疲労の回復効果も高まります。
- ☆**マダニ感染症(重症熱性血小板減少症候群)**:マダニが原因ですが、今年の感染数は既に過去最多となっています。6～14日の潜伏期間の後、発熱、嘔吐、下痢、倦怠感といった症状が現れます。

◎**意思決定支援・アラカルト12**⇒「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」第2版 令和7年3月に改訂版が出ました。新しい認知症観に基づき、結果に至るまでのプロセスを大切にして、結果のみで評価しないことを重視しています。